

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-154	12-001	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>Association of alcohol dehydrogenase polymorphisms and life-style factors with excessive alcohol intake within the Spanish population (EPIC-Spain).</p> <p>スペイン住民におけるアルコール脱水素酵素遺伝子多型と過量飲酒習慣との関連(EPIC-スペイン研究)</p>		
執筆者		
Muñoz X, Amiano P, Celorrio D, et al.		
掲載誌		
Addiction. 2012 Dec;107(12):2117-27.		
キーワード		
アルコール脱水素酵素遺伝子多型、EPIC-スペイン研究、過量飲酒		
要 旨		
<p>目的： スペイン男女住民においてアルコール脱水素酵素(ADH)遺伝子多型と飲酒との関連を調べた。</p> <p>方法： ADH 遺伝子多型 21 種と過量飲酒習慣との関連を男女において調査した。一塩基変異多型を特別システムを用いて分析し、男女別に解析した。飲酒量は妥当性が検討された食品調査票を用いて求めた。EPIC-スペイン研究のコホートから大量飲酒(男性: $\geq 70\text{g}/\text{日}$、女性: $\geq 42\text{g}/\text{日}$) (653 症例)と極少量または非飲者($< 2\text{g}/\text{day}$) (880 対照例)を選んだ。</p> <p>結果： 男女とも飲酒と他の生活習慣、つまり喫煙、食品別摂取熱量(肉、果物)の間に有意な関連があり、女性における運動量および男性における教育歴とも関連があった。さらにアミノ酸が置換する ADH1B(rs1229984)の非同義一塩基遺伝子変異多型は男女において過量飲酒と負の関連があった[男性: オッズ比 (OR)=0.19, 95%信頼区間(CI)=0.11-0.33; $P=4.77\text{E}(-10)$; 女性: OR=0.48, 95% CI=0.27-0.83; $P=0.0067$]。さらに ADH6 (rs3857224) 遺伝子多型は女性において過量飲酒と正の関連があったが(OR=1.61, 95% CI=1.21-2.14; $P=1.01\text{E}(-3)$)、男性においては関連がなかった。</p> <p>結論： スペイン男女住民において ADH1B(rs1229984)一塩基遺伝子変異多型は男女とも飲酒量と負の関連があり、ADH6(rs3857224)変異多型は女性において過量飲酒と正の関連があった。</p>		